

第４７回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録

●日時：平成３０年３月２９日(木) ９：３０～１１：３０

●場所：上尾市コミュニティセンター視聴覚室

【議事結果】

- ① Ｈ３０年度モニタリング計画（案）を了承する。
- ② Ｈ３０年度維持管理計画（案）を了承する。
- ③ Ｈ３０年度工事（案）を了承する。
- ④ 川島町認定道路の境界確定はいつ頃になるか問い合わせることを検討する。
- ⑤ 変更ルートには、歩行者と自転車に注意を促す看板の設置が考えられる。
- ⑥ サクラソウ群落とともに再生候補となる湿生植物の種は今後も検討していく。
- ⑦ Ｈ３０年度マーケットリサーチ計画（案）を了承する。
- ⑧ マーケットリサーチは、年間計画以外にも適宜委員がリサーチ対象にアプローチすることとする。
- ⑨ Ｈ３０年度広報活動計画（案）を了承する。
- ⑩ Ｈ２９収支報告（案）とＨ３０活動予算（案）を了承する。
- ⑪ 委員募集は、事務局だけでなく、各委員が知り合い等に募集用紙を配布していく。

【主な議事内容】

●第４６回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録
（質疑応答無し）

●生態系モニタリング専門委員会の活動

- ・ Ｈ３０年度モニタリング計画（案）を了承する。

●維持管理・環境管理専門委員会の活動

<Ｈ３０年度維持管理計画（案）について>

- ・ Ｈ３０年度維持管理計画（案）を了承する。

<Ｈ３０年度工事（案）について>

- ・ Ｈ３０年度工事（案）を了承する。
- ・ 川島町認定道路の境界確定はいつ頃になるか問い合わせることを検討する。境界確定までそれ程時間がかからないのであれば、代替ルートを設定せずに、境界が確定したところから順次看板を設置していくことも考えられる。
- ・ 設置予定の看板は、マスコミに発信してもらえると良い。
- ・ 変更ルート（案）は、安全のため、自転車と歩行者に注意を促す看板が必要だと考えられる。

- ・ 中池タケ繁茂区間の防根シートはどのような材質であり、どの深さまで設置するのか。
 - 材質はポリプロピレン等様々であるが、実績のあるものを使用する。設置深さは現地の状況を見て決定する。設置の際は、根がシートの下に回り込まない深さまで深めに設置するよう留意する。

＜エコロジカル・ネットワークの検討状況について＞

- ・ カワラナデシコは、サクラソウと比較して、より乾燥した環境に生育する。したがって、カワラナデシコを再生していく場合、サクラソウとは異なる場所を選定することになると考えられる。その候補として、中池の景観が良好な箇所にオギやススキ等と共に生育できるようになると良い。
 - 今後も再生対象種は検討していく。

＜マーケットリサーチについて＞

- ・ H30年度マーケットリサーチ計画（案）を了承する。
- ・ 年間計画以外にも適宜リサーチ対象にアプローチすることとする。
- ・ 企業を訪問する時期が8月だと、実際に協力頂けた場合の維持管理作業への参加が遅れる可能性がある。企業への訪問を早めることを検討する。
- ・ 企業へは2人以上で訪問し、内容を記録する。

●広報WGの活動

- ・ H30年度広報活動計画（案）を了承する。

●H29収支報告（案）とH30活動予算（案）について

- ・ H29収支報告（案）とH30活動予算（案）を了承する。
- ・ 収支表は、単価・数量・金額を分け、財務会計のようにすること。

●その他

＜広報用スライドについて＞

- ・ 広報の手段として有効である。
- ・ 今後も、事務局に写真を提供して頂きたい。

＜広報用パネルについて＞

- ・ 現在広報用パネルのリニューアルを行っている。
- ・ これを、例えば桶川市等の庁舎に一時的に置かせて頂き、PRすることも考えられる。

＜委員の募集について＞

- ・ 事務局だけでなく、各委員が知り合い等に募集用紙を配布していく。

以上